

産業応用フォーラム

自動車用主機モータの技術動向とブレークスルー展望

概要：極めて高いレベルの小型軽量化，高効率化，低コスト化が要求される自動車用主機モータについて，各自動車メーカー，自動車関連メーカー，電機メーカーなどで，システムを含めた共通的な課題背景の下，あるいは独特の課題背景の下，実用技術としての様々な取り組みがなされています。本フォーラムでは，自動車メーカー各社の既存製品化技術をベースに，車両の設計コンセプト，開発ストーリー，その結果としてのパワートレイン技術という流れで技術変遷を俯瞰し，現在，残っている課題や将来的に望まれる技術を纏め，それらに対応する設計・生産技術，また各種研究機関などでのブレークスルーに向けた取り組みなどを紹介し，広く会員に提供するものです。「自動車用モータの技術動向調査専門委員会」（設置期間：平成 24 年 6 月～平成 26 年 5 月）のメンバーを講師とし，同技術に関心のある技術者，研究者，学生等の皆様を広く対象として，最新の技術動向と応用を解説いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：平成 29 年 6 月 14 日（水）13:00～17:00

会場：名古屋工業大学 2 号館 3 階 0232 講義室
住所：〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
JR 東海中央本線，鶴舞駅より徒歩 7 分
TEL: 052-732-2111（代表）

プログラム：

- | | | |
|-----------------|------------------------------|----------------|
| 1. 13:00-13:05 | 開会，主催者挨拶 | |
| 2. 13:05-13:30 | プリウスに見る小型・高効率化の変遷 | 水谷 良治（トヨタ自動車） |
| 3. 13:30-13:55 | ホンダにおける小型・高効率化の変遷 | 貝塚 正明（本田技術研究所） |
| 4. 13:55-14:20 | 日産リーフにおける駆動モータの進化 | 石川 茂明（日産自動車） |
| 5. 14:20-14:45 | 三菱自動車 EV・PHEV における小型・高性能化の変遷 | 石丸 英児（三菱自動車工業） |
| | 休憩 | |
| 6. 15:00-15:25 | 安川電機における（小型・軽量化）の取り組み | 前村 明彦（安川電機） |
| 7. 15:25-15:50 | 東芝における HEV、EV モータの低損失化技術 | 三須 大輔（東芝） |
| 8. 15:50-16:15 | 日立 AMS における低騒音化の取り組み | 松延 豊（日立 AMS） |
| 9. 16:15-16:40 | 明電舎におけるレアアースフリーモータの取り組み | 沖津 隆志（明電舎） |
| 10. 16:45-17:00 | 主催者挨拶，閉会 | |
- 司会進行：赤津 観（芝浦工業大学）、加納 善明（大同大学）

テキスト：電気学会技術報告 1394 号「自動車用モータの技術動向」（会員価格（税込）：¥2,630，一般価格（税込）：3,758）をテキストとして使用します。希望者には特別価格（会員：¥2,500、一般¥3,500）で頒布しますので，お申し込み時にその旨を記載ください。

参加費：会員(正員) ¥10,000- (非課税) 非会員(一般) ¥20,000- (税込)
会員(准・学生員) ¥5,000- (非課税) 非会員(学生) ¥9,000- (税込)

申込方法：下記いずれかの方法より，お申し込みください。

○ホームページからのお申込み：<http://www.iee.or.jp/forum.html>

○電子メール，または FAX でのお申込み：「産業応用フォーラム「自動車用主機モータの技術動向とブレークスルー展望」参加申し込み」と題記し，会員／非会員の別，氏名，所属，連絡先（住所，電話，ファックス，電子メール），テキストの要・不要の別をご記入の上，5月31日(金)までに下記へお申し込みください（定員 140 名に達し次第，締め切らせていただきます）。

問合せ先：大同大学 加納善明 e-mail: y-kano@daido-it.ac.jp 【注(at)を@に置き換えて送信して下さい。】

参加費支払い方法：参加費は，当日に現金でお支払い願います。領収書は，原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが，その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。

主催：電気学会産業応用部門 自動車技術委員会（貝塚正明 委員長）